



日口交流

発行 : 特定非営利活動法人 日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14 麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax : 03 (5563) 0752



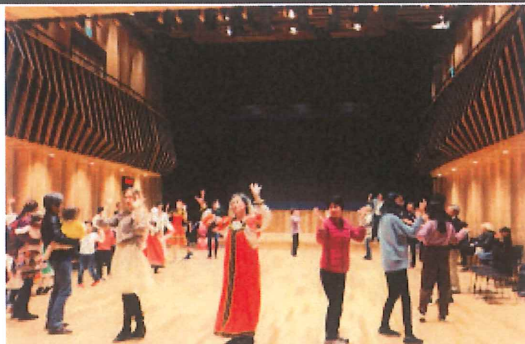
マースレニツア

千葉 麻里

2月24日(月・祝)午前中の9時から12時まで、池袋駅近くに新しくできたばかりの豊島区民センターでロシアのお祭り「マースレニツア」を開催。マースレニツアはご存知の通り、冬を送り春の訪れを祝い、精進期間の前に2月の中旬頃から1週間あるお祭りです。ブリヌイを沢山作って、届けたりみんなで食べたり、藁人形を飾り、最後に燃やしたりします。

主催は子どものためのロシア語クラブ「グロバス」で、他のクラブなども協賛していました。私達も会員の岩橋さんとロシアのチョコレートや本、エレナ先生のマトリョーシカなどを並べて参加しました。ロシア語クラスやマトリョーシカ展示会に来ていた方、他のロシア語のグループの方々も集まって会場はとても賑やかに。

10時になると、舞台つきの広いホールで、ロシア人の子どもの歌や踊り、ロシア語の劇などを座って見学。子どもたちは実に才能豊かで、手作りの衣装も華やかで舞台は素晴らしいものでした。ロシアの子ども達は、小さいときからこういう経験を沢山積んでいるから芸達者なのだなあ、と日本人同士納得したり・・・。舞台が終わると主催者のナタリアさんが、見学者も巻き込んで輪になったり列になったりと、踊り歌い、ゲームをしたりと全員で盛り上げるように持って行



みんなで踊ったり歌ったり。中央にナタリアさん

きます。さすがに進行がうまい、と感心せざるを得ませんでした。

入り口ではブリヌイを無料で配っていたので、みんなでしっかり味見しました。寄付金箱はありましたが、参加も見学も無料です。ナタリアさんに話を聞くと、「ロシア人は色々な楽しみが沢山たくさんないと、参加したがないのよ」と。色々勉強になりました。

今年の12月まで、私は文化庁の「伝統文化親子教室」を開催していましたが、そ

のときの生徒さんたちや懐かしい顔を見ることもできて楽しい半日でした。エレナ先生のマトリョーシカ絵付けの体験にも子ども達が大量参加していましたし、ロシア語を学ぶ人やロシアに関心のある人がこんなにいるのだ、ということも分かって嬉しい日になりました。

2月末にロシア大使館でもマースレニツアが開催される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け、中止になりました。かなり大勢の参加者が予定されていたので、非常に残念でした。

3時間はあっという間に過ぎてしまい、来年もまたやりましょう、とナタリアさんたちと慌しく別れました。イワン・クパーなど、ロシア、スラブの様々なお祭りを紹介している、とランチを食べながら相談しました。一日も早いコロナウィルスの収束を願ってやみません。それまで皆様がお元気で過ごされますよう。(常任理事)

お知らせ

コロナウィルスの影響でイベントや活動の制限があり、中止や延期が続いています。事務局もほとんど閉鎖しておりますので、会員の皆様にはご迷惑、ご不便をおかけしておりますがどうぞご了承ください。

収束して東京都の自粛が解除され次第、毎月行われている企画などから順次再開いたしますので、今しばらくお待ち下さい。会員の皆様、ご家族の方々のご健康をお祈り申し上げます。どうぞくれぐれもご自愛くださいますよう。

●ロシア語クラスについて

0からクラス、初級、準中級、中級、上級、翻訳クラス等レベルに応じて参加できます。月4回、5500円 x 3ヶ月分前納

現在、新型コロナウイルスの影響で、事務所でのロシア語クラス及びテーマ別ロシア語を休止しております。が、ご希望に応じ、徐々にオンライン授業に切り替えているクラスもございます。従来の参加者の皆様に優先し、調整しながらになりますので、しばらくお待ち下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

*お問い合わせは協会事務局まで。

返信が遅れることがございますがご了解ください。

Fax : 03-5563-0752 nichiro@nichiro.org



お願い

NP0 日口交流協会では、ロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円から、いくらでも結構です。

振込先 : 郵便口座 00160-9-66486、加入者 : 日口交流協会

連絡先 : 日口交流協会事務局 E-Mail : nichiro@nichiro.org

変わるモスクワ：最新地下鉄事情

西山 美久

1935年に開通したモスクワ地下鉄は都市交通網として発展し、今では市内から郊外までを結ぶ重要な交通手段となっている。多くの駅で豪華な装飾が施され、「地下宮殿」と呼ばれることもあり、定番の「観光地」とされている。以前は写真撮影が禁止されていたが、観光資源の一つとされているのか現在では駅のホームにインスタ映えする「撮影スポット」を示す表示があり、観光客が競い合うように写真を撮っている。

2013年には交通系ICカードが導入された。その名も「トロイカ」である。これ以外にも、マイクロチップを埋め込んだキーホルダーやプレスレットもあり、改札口を通過する際に読み取り部にタッチするだけで自動引き落としとなる。「トロイカ」は各駅の窓口で購入できるが、キーホルダーやプレスレットは一部の駅に設置されたお土産店でのみ販売されている。最近では観光客を意識してか、日本で大人気のチャプラーシカがプリントされた「トロイカ」やキーホルダーもあり、マニアにはたまらないグッズであろう。



モスクワ地下鉄では、ソ連時代の旧型車両が今でも現役で走っているが、とにかくうるさい。他方、導入が進められている新型車両では騒音が少なく、空調も

完備されており、乗り心地が良い。車内にはモニターが設置され、天気予報やニュースが常に流れている。またUSB電源が備え付けられ、タブレット端末を充電できるようになった。無料Wi-Fiも整備されている。日本よりも便利になっているのではと思うほど、車内環境は改善されている。

さて、地下鉄を利用する上で気になるのが言葉の壁である。しかし心配ご無用。サッカーワールドカップを機に車内アナウンスや駅の案内板がロシア語と英語の二言語になり、ロシア語を解さない観光客にとって利用しやすくなった。もともと、駅窓口の係員はロシア語オンリーのようである...

モスクワ市は地下鉄の新線建設・延伸に注力しており、その影響で路線は複雑化している。観光客はもとより、地元のモスクワつ子にとってもその把握は難しい。そこで、運営元のモスクワ地下鉄公社はスマートフォン用のアプリを公開し、複雑な路線を簡単に確認できるようにした。このアプリを使うと、目的地までの行き方や移動時間も分かり、非常に便利である。

2018年には市内中心に位置する一部の駅で有料トイレ（69ルーブル）が設置された。以前は地下鉄にトイレが無く大いに悩まされたのだが、少しずつ改善されているようである。

モスクワにお越しの際には、進化する地下鉄を利用して「地下宮殿」巡りをするのはどうだろうか。（北海道大学）

<投稿> 2011年3月11日福島

ナタリヤ・モロゾワ島田

－花みな枯れてあはれをこぼす草の種－ 松尾芭蕉

9年前のあの日のことを書きました。私たちの心の中に残っている意志、優しい行動、思い遣り、助け合い、才能と努力を寄せ集めれば、きっとこの厳しい21世紀を無事に乗り越え、ちゃんとした人生を歩んで生きることができるでしょう。福島原発事故、その前に起きた地震と津波。人間の弱さと人生の尊いことを、空しい自惚れでは自然には勝てないことを思い出させてくれました。

その恐ろしさと向き合う日本の人々の姿は尊敬すべきでした。『50人原発侍』として知られている彼らの犠牲を忘れてはいけません。チェルノブイリ原発事故を思い出します。少なくとも21世紀の後半まで放射能の影響は続きます。大勢の人が亡くなりました。福島について科学的な記事など沢山ありますが、それ以上に私は消えた大切な命のことを書きたいのです。夫の記憶や日本に住んでいる友達の記憶から。

2011年3月11日の朝、私はいつも通りキエフで撮影に入っていました。休憩中ラジオで日本の地震と津波のことを聞いて、すぐに日本にいる夫に電話をかけました。彼は当日東京の会議に出かける予定でした。『夫が生きている！神様ありがとうございます！』折り返しの電話がなかったから夜は何度もかけましたが繋がらず、長い長い、眠れない夜でした。

日本人は子供の頃から防災訓練などを受けているので、地震が来たらまず冷静に落ち着いて机の下に隠れるとかドアや窓を開けて逃げ道を確保することを知っています。TVやラジオでは素早く震災の地域や大きさや状態が知らされます。

東京では交通崩壊が起き、その夜、何千人も歩いて帰ったそうです。都市化に慣れている日本人にとっては交通崩壊のショックは大きかったでしょう。日本人は我慢強く、風紀を

乱すことを許さない民族です。家族のことを心配しながら黙って歩きつづけていました。

ずっと東京に住んでいる友達のアナリヤが語ったところでは、「当日は家で5月に来日する予定の友達のためにツアーを考えてウキウキしていた。地震は突然始まり、強く、長く揺れた。赤ちゃんは静かにしていたのでちょっと安心！と思って自分を冷静にさせようとした。北のほうが大変だったから、無事にいる自分がパニックになったら申し訳ないと思っていた。毎日来ている郵便配達時間が時間通りに来たり、幼稚園バスが1時間ほどの遅れで来たがみんな大丈夫だった。しばらくの間は夜が怖くて上着を着たまま寝ていた。車のラジオで放射線のため窓を閉めて、クーラーを使わないようにと言うアナウンスが流れていた。みんな家から出ないようにしてテレビだけつけっぱなし。だんだん慣れてきたが、地震の影響で1年間ぐらいいく揺れていた。」

ヨーロッパの国々の大使館は東京から大阪へ移動。多くの外国人が急いで日本から離れました。地震のトラウマで泣き止まない子供達がいっぱいいました。

しばらく経つと桜が咲いてきました。外国人の私たちは新しい日本語の言葉をたくさん覚えました。放射線、津波、避難所。食品のチラシに東日本からの商品がバツになっていました。放射線の影響だけでは無いと思います。作った人の写真付き商品も。その方々が、もうこの世にいないかもなんて想像したくない。

震源地は本州から130km離れた海の中。テレビではプレートが動いているイメージ動画や津波が来ている動画が流れました。『被害』などというものではありません。ネットで当時の恐ろしい映像はどんな怠け者でも見ていました。仙台空港は冠水、陸前高田市は津波に流され、南三陸町等の大勢の行方不明者。生き残った人々の記憶は悲しみや苦しみでいっぱいですが、静かな寂しさもあります。その明るくて強い悲しみの中に、私は日本の美しさや強さを発見しました。（ウクライナ・女優）（訳：菅野エレナ）

幻の(?)オリンピック

畔上 明

新型コロナウイルスによる社会生活に及ぼす世界的な打撃は一体いつまで続くことか先が見え難い現状ですが、「2020東京オリンピック」も名称はそのままに2021年7月23日への開催延長となりました。とはいえ、パンデミック終息が数か月先と予測する人もいれば、2年後とその覚悟を語る人もいます。

話は転じてオリンピックの歴史を振り返ってみると、40年前ソ連のアフガニスタン侵攻をきっかけとして当時冷戦状態にあったアメリカが「モスクワ・オリンピック」をボイコットし、日本もアメリカの不参加に追従したことで柔道の山下泰裕選手やマラソンの瀬古利彦選手等が涙を吞んだことが思い出されます。

しかし、1980年は私にとっては忘れ難いオリンピックでした。そのイベント期間中「三十にして立つ」べき歳を迎えることとなり、それまで二十代半ばに入社2年目のソ連専門商社「日本海貿易」が大赤字を抱え倒産の危機を目の当たりにしたこと、加えて初恋への思いが打ち砕かれる挫折を経験したことで10か月のユーラシア大陸の放浪の旅を経験し、帰国して後、「モスクワ・オリンピック」に向けて会社を一回り大きくしたいとの意向でスタッフ募集をしていた小さなソ連専門旅行社に入社、伴侶を得、長男も誕生した矢先、五輪への一大投資が水の泡となった会社の唯一の催行ツアーに、私が添乗することになったのです。

乗馬をたしなむ紳士やバレーボールのドーロホフ選手のファンであるという若き女性たちがツアー参加者の主なメンバーです。前年度何百枚と購入したチケットを携えてモスクワの競技施設を巡って観戦し、マスコットのミーシャの人形が閉会式で涙を流すまでの滞在期間中、そのさなかに突如飛込んできたニュース・詩人であり俳優であったヴィソツキーの42歳という若すぎる計報に接し、或いはソ連滞在の日本人ご家族と交流を深める機

会を得て、あの国の知られざる幼稚園、小学校での喜怒哀楽の生活を本（松下友子「さよならモスクワの小学校」筑摩1971、松下恭子「子どものモスクワ」岩波新書1972）にされその愛読者でもあった私にとっては、そのご主人松下裕氏と「プロGRESS」出版社の同僚でいらしたキム・レホ氏と共にサッカー決勝戦（チェコスロバキア1x0東ドイツ）のレーニン・スタジアム（ルジニキー競技場）で席を並べた記憶は今も鮮明に残っております。

1964年の「東京オリンピック」の思い出は中学生の私たちが校庭から国立競技場上空に描かれた五輪を仰ぎ見たこと以上に、雪どけをもたらしたと思えたフルシチョフが退陣し（1964年10月14日）ブレジネフ時代が始まったという臨時ニュースが印象的でした。1968年「メキシコ・オリンピック」では、ロシア文学に夢中になっていた青春期だけに、その直前のチェコ事件（1968年8月20日）に胸を痛めた思い出があります。そして1972年の「ミュンヘン・オリンピック」ではその時、初めてソ連を訪れた時と重なりシベリア鉄道の中でロシア人と共にその報道を聞き、特に選手村での「黒い九月」テロ事件にはハラハラさせられたものでした。

半世紀近く前のソ連訪問以降、1976年「モントリオール・オリンピック」は放浪の旅の途上ドイツのヴェルツブルクで、さらに1980年がモスクワの現場にて、そして4年毎のオリンピックのことごとくが何故か奇妙なめぐり合わせによって旧ソ連邦の何れかの場所でそのスポーツ中継に接することとなり、さて今年はメキシコ以来私にとっては52年振りに日本でのテレビ観戦となるかなという五輪でもあったのでした。

（「プロコ・エアサービス」シニア・アドバイザー）

キャッチフレーズは「異なる価値観に出会い、新しい行動が生まれる場所」です。多くの多国籍老若男女が集うこの交流空間では、自主イベント開催など、多彩な活動が展開されています。特筆すべきは、「世界の朝ごはん」の編集長と副編集長がCASACOの人気者の女子2人（高校生と小学生）であることです。高校生は「世界の面白さをみんなにもっと知って欲しい」、小学生は「将来、国際機関で世界の人たちを救う仕事がしたい」と、大志を持って編集に臨んでいます。彼女達がこれまでCASACOで楽しみながら学んだ58か国と、その朝ごはんと共に、ウズベク朝ごはん、「シルグルンジ（ミルクがゆ）」と「サモサ（ミートパイ）」が、掲載されます。

一方、タシケント国際空港封鎖により、NORIKO学級校長、ナジロフ・ガニシエル氏の4月来日が延期になりました。舞鶴市が、NORIKO学級との交流を契機に、2019年11月19日にフェルガナ州副知事と、12月16日にリシタン地方長官との間に、双方の人材育成交流に関する覚え書を交換しました。その立役者として、ガニシエル校長は、この1-2年は、たびたび来日していました。舞鶴市とフェルガナ地域との今後の農業や産業技術、福祉関連の人材育成交流に期待が持てそうです。

NORIKO学級も、まさに「新たな出会いによって、新しい行動が生まれる場所」、CASACOのキャッチフレーズのようになっています。

（リシタン・ジャパンセンター事務局長）

ウズベキスタン便り

寺尾 千之

新型コロナウイルスの影響は、ウズベキスタン共和国フェルガナ州リシタン市の日本語教室「NORIKO学級」にも及んでいます。4月初めに、「ウズベキスタンのウイルス感染者が200人に達したらしい」と、留学生が知らせてくれました。ウズベク全土が休校になっているようですから、「NORIKO学級」でのボランティア交流も、しばらくは、おあずけです。

そんなときは、「朝ごはん」で元気をつけましょう。RJCと10年来の交流があるNPO法人Connection of the Children(略称CoC)企画の「世界の朝ごはん」が、近々出版されます。同法人で代表理事を務める加藤功甫氏は、2011年、大学院を休学して彼の親友と共に1年をかけてユーラシア大陸2万キロメートルを自転車走破したスーパーマンです。道中、事前に連絡をしておいた各国の学校に立ち寄り、子ども達との交流を図るという離れ業もやっていたのです。NORIKO学級到着時には、子ども達から熱烈的な歓迎を受けました。

（写真ご参照）彼らの滞在中、食事の世話をしたのが、当時、高校生だったノジマさんです。現在、日本に留学中の彼女は、加藤氏から連絡を受け、朝ごはん調理のため、CASACO（カサコ）に出向きました。CASACOとは、横浜にあるCoCの活動基地です。



～追憶のロシア (21)～

サマラ紀行 (2)

岡田 和也

2018年9月13日(木)の正午に成田を発ったアエロフロートの機内では、14時前に飲み物が供され、私は、甜橙〔オレンジ〕の果汁〔ジュース〕を戴きましたが、苹果〔りんご〕や蕃茄〔トマト〕の果汁、モルス、ペプシ・コーラ、セヴン・アップなどもありました。昼餉の主菜は、白い醬汁〔ソース〕の掛かった白身の魚。他に、付け合わせの馬鈴薯泥〔マッシュド・ポテト〕、紅い甜椒〔パプリカ〕、隠元のソテー、鮭のマリネ、生野菜少々、卵焼きの寿司、柴漬けの海苔巻き二つ、バター・ロール一つ。バターは使いましたが、ドレッシングを忘れました。デザートは、カステラ、チョコレート、クリームのかいた軟らかいケーキ、珈琲を摂り、砂糖を入れて。食後、新聞『コメルサント』『イズヴェスチヤ』『ニエザヴィーシマヤ・ガゼータ(独立新聞)』と雑誌『オゴニョク(灯)』に目を通します。飛行機に乗り馴れていないせいか、尾てい骨が疼きます。二度目の食事は、主菜が炙牛肉〔ロースト・ビーフ〕でしたが、胡椒を掛け過ぎて噁〔くしゃみ〕が出そうに。他に、牛肉入りのパスタ、クリームとケチャップの味。褐色のロール麺、バター。デザートは、チョコ・バーの『銀河〔ミルキー・ウェイ)』、珈琲を摂り、砂糖を入れて。

シレメーチェヴォ空港への到着は定刻より十五分早い十五時五十分の予定、外気温は零下四十五度、との機内放送。十時間に及ぶ飛行は、永いような、短いような。モスクヴァは、霽れ、気温は廿度。空港の建て物の外へ出て、空気と烟草を一服します。サマラ行きの飛行機は、同じ空港の同じ航廈〔ターミナル〕から出発するため、市内を移動する必要はないものの、中心街へ往って復ってくる時間はなく、私たちは、構内のカ

~~~~~

～イルクーツク便り (5)～

## 留学生活7年を迎えて・2

阿部 耕大

皆さんこんにちは。イルクーツク国立大学修士課程1年の阿部耕大です。今回は授業の様子について。

昨年、9月から10月下旬までは前期の授業があり、週3日で1日に2、3コマという、週5日4コマの学部時代よりも緩やかなものでした。現在形の復習とか、たぶん日本の中学校の方が内容的に難しい英語を除けば、情報言語学、音声学、構文論と専門的な授業の連続で、授業初日からクラスでの落ちこぼれは決定、と早速一人撃沈。しかし始まってみるとロシア人のクラスメイトも携帯片手に専門用語を調べたり、イントネーションを先生から注意されたり。もちろん彼らは小中高と学生時代に基本的なロシア語の授業は受けていますし、ネイティブなので直感で分かる部分もありますが、ほとんどのクラスメイトは大学での専門が経済だったりする為なのか、すんなりとは理解できないんだ…と驚きと共に安心感もありました。しかし少なくとも外国人はC1レベルのロシア語能力がないと授業に何とかついていくのすら困難かと思われ。一緒に勉強する予定だった中国人2名は難しすぎると言い残し1日で外国人専用クラスへ逃避…。ロシアの大学を卒業して良かったとその時初めて思いました。まあ日本の会社では大卒であることすら信じてもらえませんでした(笑)

フェ『ショコラードニツァШоколадница』に落ち着きました。灰日、二輪の虹、秋の空と雲、西向き大きな窓、露西亞語を学ばれるHさん。私が注文したのは、オブレピーホヴイoblepihovyと云うシー・ベリーのお茶でしたが、ソ連時代はどこか殺風景で燻〔くす〕んでいた印象のあるこの空港で、そんな洒落た飲み物に出逢ったことに、時の流れを感じました。

オブレピーホoblepih (西比利亞鳳梨〔シベリヤ・アナナス〕)と云えば、極東のハバロフスクに住んでいた頃、地元の獵人作家フセヴォロド・シソーエフ(1911-2011)さんから風邪に効くと云って自家製の露西亞風ジャム〔ヴァレーニエ〕を一罐戴いたことがありましたが、それは、濃い柑子〔こうじ〕色で如何にもヴィタミンたっぷりと云った感じでした。ノーベル賞作家のアレクサンデル・ソルジェニツィン(1918-2008)は、1994年に亡命先の米国からアラスカ経由で帰国して西比利亞〔シベリヤ〕鉄道でウラヂヴォストークから首府へ向かう途次、この作家をダーチャに訪ねて昼餉を共にし、タラノキаралняを成分に含むアラリーエヴァヤ Аралневаяと云う浸酒〔ナストイカ〕настойкаを盃に二つ美味しく乾したそうですが、食後の紅茶には、このジャムが添えられていたかも知れません。

(2020年4月9日・擱筆)

\* 帰国したソルジェニツィン(1994年6月2日の朝、ハバロフスクI駅のプラットフォームにて)筆者撮影



もう一つ自分がクラスに割とすぐに馴染めた理由は、もちろんロシア人側が温かく迎え入れてくれたこともありますが、それよりも学生ノリがあまりなかったからです。実際クラスメイト10人の内2人は年上で、家庭のあるお母さんも二人います。彼らは子育てが一段落してもう一度勉強したいという理由で大学院に入学した人達です。他にも既にモンゴルでロシア語教師として働いていたけれど、より専門的な知識を習得する為に入学した人も。もちろん書類の記入ミスで来ちゃった人なんかもありますが、総じて良い意味での個人主義があるのは嬉しいです。アラサーなのに若い学生ノリってのも痛いです(笑)

10月下旬から12月上旬まではインターンとして外国人学生の作文(全8回)を添削する課題がありました。ロシアの国民的アニメ・スメシャリキを観て、各アニメに内包されているテーマを考察し、作文を仕上げるという外国人学生にとっては少し難題だったと思います。なんて偉そうに言ってますが私も外国人ですし、正確に内容を理解しているか半信半疑ですし、文法の間違ひもゼロではないのにチューターとして添削するなんておこがましいと思ってましたが、結果的に2人の中国人女子の担当者に任命されました。最初の方こそ他人の作文をコピーして提出してきましたが(せめて言い方少し変えるみたいな知恵見せて…笑)、最終的に全8回のテーマで作文を書き上げてくれました。その内の一人が12月に行われた学内作文コンクールで約40人の内5位に入賞した時は嬉しかったです。そうこうしている内に期末試験も無事に合格し、2019年が終わりました。

映画・音楽・演劇

アート・テレビ・講演会

ロシア関連情報紙



# Russian TEA

発行：日ロ交流協会 / 〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-401 / TEL03(5563)0626 FAX03(5563)0752 / E-Mail:nichiro@nichiro.org / http://www.nichiro.org

- 『ロシアンティ』は日ロ交流協会が会報『日ロ交流』の付録として発行するロシア関連情報誌です。日本（主に関東周辺）におけるロシアと一部東欧の関連情報を最大限掲載します。ここに掲載なさりたい情報がございましたら協会事務所（TEL03-5563-0626/FAX03-5563-0752 または郵送）までお送り下さい。情報掲載は無料です。見本が必要な方は協会事務所へご連絡下さい。
- 掲載された情報についての問い合わせは全て掲載している問い合わせ先（問）と記載）にお願いします。情報には正確を期しておりますが、掲載内容に間違いがあった場合の責任は負いかねます。足を運ばれる前に会場等へご確認の問い合わせをお勧めします。

\* NPO 日ロ交流協会では、ロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円からいくらでも結構です。振込先：郵便口座 00160-9-66486、加入者：日ロ交流協会、連絡先：日ロ交流協会事務局  
E-Mail : nichiro@nichiro.org、Tel:03-5563-0626 Fax:03-5563-0752

## ★★★ テレビ ★★★

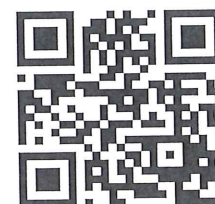
- ・映画「チェブラーシカ」/ 5/2(土)6:45 / WOWOW シネマ
- ・映画「ドクトル・ジバゴ」0・シヤリフほか（字幕）/ 5/5(火)13:00 / NHK BSプレミアム
- ・ポリショイ・バレエ団「白鳥の湖」/ 5/6(水)13:00 / 「眠れる森の美女」15:10 / WOWOW ライブ
- ・映画「チェブラーシカ 動物園へ行く」/ 5/12(火)4:35 / WOWOW シネマ
- ・マリインスキー・バレエ団「海賊」/ 5/19(火)21:45 / WOWOW ライブ
- ・映画「スターリングラード 史上最大の市街戦」トーマス・クレッチマン、ヤニナ・ストゥディリナほか（字幕）/ 5/23(土)19:00 / BS12
- ・クラシック音楽館▽N響コンサート・第1934回定期公演▽ラフマニノフ「交響曲第2番」▽プロコフィエフ「バイオリン協奏曲第1番」指揮＝パーゴ・ヤルビ 東京サントリーホール（録画）/ 5/24(日)21:00 / NHK Eテレ

## ★★★ 新刊 ★★★

- ・私の北方領土 日本人は本当の「終戦の日」を知らない 元島民・平野一郎の主張／遠藤 一郎著／文芸社／1870円／元島民の「真の叫び」を開け！ あのととき、本当は何が起こっていたのか。「色丹島」で終戦を迎え、激動の歴史の波に翻弄された著者が、ソ連軍による北方四島占領の「真実」を伝える。
- ・日本外務省はソ連の対米工作を知っていた／江崎 道朗著／育鵬社／1760円／昭和14（1939）年に在ニューヨーク日本帝国総領事館により作成された極秘文書「米国共産党調査書」。そこには米国共産党の組織と活動全般が詳細に記されていて…。日本の外務省が把握していた米国共産党の実態を読み解く。
- ・ウラジオストク ハバロフスク 改訂第2版（地球の歩き方P1at）／地球の歩き方編集室 編／ダイヤモンド・ビッグ社／1430円／ウラジオストクでしたいこと&ウラジオストクでしかできないことを厳選して紹介。グルメ&ショッピングガイドやエリアガイド、ホテル、マップ、旅の基本情報も充実。データ：2019年11月～2020年3月現在。
- ・ニコラエフスクの日本人虐殺 一九二〇年、尼港事件の真実／アナトーリー・グートマン著／長勢 了治訳／勉誠出版／4180円／ロシア革命後の、赤色パルチザンの実態とは？ 1920年にロシア極東のニコラエフスク市で起きた日本人虐殺事件「尼港事件」の真実を、事件直後のロシア「調査委員会」報告と生き証人達の生々しい証言で明らかにする。
- ・中世ロシアの政治と心性（人間科学叢書）／A. A. ゴルスキー著／宮野 裕訳／刀水書房／3850円／「イーゴリ軍記」の主人公イーゴリ・スヴャトスラヴィチなど、12～14世紀に生きた4人の中世ルーシ諸公を取り上げ、伝記で各人物の歴史的评价を見直し、それと関わりを持つ世界観やメンタリティの問題について解説する。
- ・ボロディン中央アジアの草原にて（zen-on score）／ボロディン作曲／全音楽譜出版社／770円／中央アジアのキャラバンが砂漠を渡る様子を描いた、オーケストラの「音画」。ロシア音楽を多く出版したラーター、ムージカ、ベライエフの各社版を照合して精度を高め制作した新しいスコア。藤原順による詳細な解説も付す。

## ★★★ You Tube ★★★

- ・<https://www.youtube.com/watch?v=UtsnQhtXnLE> ドラマ
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=4FhMc2db9iQ> ドラマ
- ・[https://www.youtube.com/watch?v=JkxyMOSvC5M&list=RDJkxyMOSvC5M&start\\_radio=1&t=13](https://www.youtube.com/watch?v=JkxyMOSvC5M&list=RDJkxyMOSvC5M&start_radio=1&t=13) ドラマ
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=M-c0weoaHks&list=PLkWF5HzBeoSfiapGwSbldZQ5sC2YskoHo&index=1> ドラマ
- ・<https://www.hermitagemuseum.org/> エルミタージュ
- ・<https://shm.ru/shows/24047/> 国立歴史博物館
- ・<https://www.tretyakovgallery.ru/programs/tretyakovlive/> トレチャコフ美術館
- ・<https://www.youtube.com/watch> ・美術館
- ・<https://www.youtube.com/watch?v=34PujZg138M&feature=share&fbclid=IwAR0sqzC8P9buz8LZ2i0-sZIGLUQC0FU17jESY7fkVajYjz3cfMQYVfNDgOA> 美術館
- ・[http://moscons.ru/ru/event\\_p.aspx?id=166178](http://moscons.ru/ru/event_p.aspx?id=166178) コンサート
- ・<https://www.youtube.com/watch> ・<https://cinema.mosfilm.ru/> 映画 モスフィルム
- ・<https://theatreday.culture.ru/> 演劇
- ・<https://orpheusradio.ru/> ラジオ
- ・<https://www.ltv.ru/movies/vse-filmy> [https://russia.tv/video/index/menu\\_id/267/](https://russia.tv/video/index/menu_id/267/) TV
- ・<https://postnauka.ru/themes> 科学
- ・[https://tvkultura.ru/brand/show/brand\\_id/20898](https://tvkultura.ru/brand/show/brand_id/20898) TV
- ・<https://mariinsky.tv/> マリンスキー劇場
- ・<https://www.culture.ru/news/255584/teatralnye-translyacii>
- ・<https://novat.nsk.ru/> ・ [onlayn-translyatsiya-baleta-koppeli](https://onlayn-translyatsiya-baleta-koppeli) バレエ



日ロ交流協会ホーム  
ページ QR コード